

丹後地域における「京のこだわり畜産物生産農場」 登録制度の推進への取組

丹後家畜保健衛生所
○岡田幸大 西井義博

【背景】平成25年度に立ち上げた「こだわり畜産物生産農場」登録制度は、安心・安全な畜産物生産の推進と消費拡大を目的としており、丹後地域においても農場の支援と制度推進に取り組んでいる。【取組の概要】管内農場へ制度説明、飼養状況の確認及び指導並びに登録についての意識調査を実施。また、制度に関する消費者の認知度把握と周知のため、地域のイベントでアンケート調査とPR活動を実施。【結果】現在までに酪農2戸、肉用繁殖2戸、肉用鶏2戸の計6戸が登録。6次化に取り組む2農場は、ロゴマークやPRパネルを製品の紹介に活用。新たに登録を目指す肉用牛一貫農場では、継続的な衛生指導により経営者の意識が向上し、牛舎消毒や飲水施設の改修に着手。農場への意識調査では、主に6次化の取組のない農場で登録後のメリットが不明確との意見があった。消費者への3回のPR活動を経て、来場者調査で制度の認知度は約10%から約40%に増加。またロゴマークの掲示で安心・安全と感じるとの意見は約50%認められた。【まとめ】農場が制度登録に取り組む中で各々の課題が明確になり、衛生管理に関する意識は向上した。府内産の畜産物が高い衛生意識とこだわりを持ち生産されていることを消費者に示し、競争力の高い畜産物を生産するため、さらなる衛生指導と消費者へのPR活動を継続したい。